

# 宇都宮短期大学令和5年度卒業生の就職先聴き取り調査報告

## 【音楽科】

1. 調査期間 令和6年3月下旬～4月下旬

2. 調査先 令和4年度卒業生の就職先2施設（音楽関係1、一般職1）

3. 回答者 各会社の責任者

### 4. 調査結果

（質問1）音楽科の学習成果に対して、貴社に就職した当初できていたかどうかおうかがいたします。

1. 「自己および他者を理解でき、自立・自律した生活の知識・技術を身につけている」  
①できている：2 ②まあできている：0 ③できていない：0 ④その他：0
- ・自己の特性を理解し、予定の管理なども自立して行えている。
  - ・自己だけでなく、他者へも気を配ることができている。
  - ・周囲の状況把握に努め、自己の立場を考えながら行動できている。

2. 「音楽の意義を理解し専門的な知識・技術や態度を身につけている」（指導も含む）  
「専門的な知識・技術や態度を身につける努力をしている」（一般職）
- ①できている：2 ②まあできている：0 ③できていない：0 ④その他：0
- ・習得すべきことは問題なく学べている。
  - ・基本的な知識・技術を身につけている。
  - ・わからないことは素直に聞くことができている。

3. 「自主の気風を高め、個性を生かした芸術表現を実践する基礎ができている」  
「自主の気風を高め、個性を生かし、仕事に取り組む基礎ができている」（一般職）
- ①できている：1 ②まあできている：1 ③できていない：0 ④その他：0
- ・何か不具合・不都合があった場合等も、報告など経験を生かして取り組んでいる。

（質問2）本学学生が、貴社に就職した当初、できていなかったところは、どのようなところだったでしょうか。

- ・基本的なところはおさえられていたが、パソコン操作の知識が物足りなかった。
- ・初めは積極性が少し物足りなかった。
- ・電話対応時の言葉遣いができていなかった。

（質問3）その後の成長は、いかがでしょうか。

- ・パソコンに関しては、操作や作業内容に慣れてきてできるようになっている。

- ・わからないことや、困ったことはすぐに上司に聞くことができ、自身で考えて動くといった積極性が見られるようになった。
- ・電話対応や接客も、相手の顔を見て笑顔で対応できるようになった。
- ・一年経過し、成長が感じられる。多くのことを学んで吸収している。

(質問4) 本学の教育についてのご要望等

- ・パソコン操作に関しては、各々の差もあると思うが、基礎的なことは今まで同様学び、プラスアルファで学んでこられることがあるとよい。
- ・コミュニケーションをとるのが難しい人もいると思うので、コミュニケーション能力の指導もあるとよい。

(質問5) 其他のご意見、ご要望

- ・自己管理がしっかりしていて、上司から学んでいくという姿勢も見られ、安心して仕事を任せられている。
- ・学生時代を有意義なものにするため、学生時代にしかできないことをたくさん体験・経験してほしい。

5. 就職先への聴き取り調査を通しての課題と改善点

- ・一般企業のみならず、音楽の企業もパソコン操作を仕事上必要とすることが多いので、学生時代から基礎的な操作に加え、応用にも対応できるよう、日頃からパソコンに触れる機会を増やす工夫が必要である。
- ・各授業において、教科の特性に合わせた方法を用いて、言葉で発表する機会や、グループディスカッションの機会を増やす等、コミュニケーション能力の向上を目指す。
- ・就職試験対策講座等も活用し、就職のみならず、就職後の対策も行なっていけるように工夫したい。

## 【人間福祉学科】

1. 調査期間 令和6年2月下旬～3月下旬

2. 調査対象 人間福祉学科社会福祉専攻・介護福祉専攻21期生の就職先

県内正規社員採用の福祉施設・病院等 計13施設（社会福祉専攻8、介護福祉5）

3. 回答者 事業所の責任者（施設長、人事担当者等）

4. 調査結果

(質問1) 人間福祉学科の学習成果に対して、貴社に就職した当初できていたかどうかおうかがいいたします。

1. 「自己及び他者を理解でき、自立・自律した生活の知識・技術を身につけている」

①できている：8      ②まあできている：4      ③できていない：1      ④その他：0

- ・教わる姿勢や他者との関わり方が良好である。
- ・他者を尊重することのできる人物である。
- ・周囲の状況把握に努め、自己の立場を考えながら行動している。
- ・他者への理解はできている。今後ご本人自身で自律した生活スキルの向上ができていくと期待している。
- ・就職当初から自己を理解し、自らの役割を考えながら業務に取り組むことができている。また、常に冷静に物事を考えながら利用者支援を行うことができている。
- ・申し分がないくらいで今後にも期待している。
- ・実習経験もあり特養の雰囲気にもすぐに慣れ、職員の指導も理解し、行動にうつすことができていた。
- ・遠慮がちで自分を表現できなかつた様子があった。
- ・就職時、業務の疲れで家事が滞り悩んでいる様子があった。
- ・協調性が乏しいのでその都度指導している。

## 2. 「福祉専門職として基本的な知識・方法・技術を身につけている」

①できている：6      ②まあできている：6      ③できていない：1      ④その他：0

- ・入職してから習得すべきことを問題なく学べている。
- ・自ら支援の方法を提案するなど、学生の時の学びが活かされている。
- ・知識だけでは上手くいかないことも多い中、その都度情報収集をしながらレベルアップを図る姿がみられた。
- ・専門性は、今後も身につけていかれると思う。
- ・基本的な知識は身につけている。利用者の状態を見極めながら丁寧に関わることができている。
- ・基本的知識・方法・態度は身についた状態であり、夜勤が独り立ちも一任している。
- ・学校で学んだ基礎知識がしっかり身についていたので、一人ひとり理解し支援することができていた。
- ・保育士が多い職場のため、専門知識で苦勞している様子が見られた。
- ・知識は備わっているが、現場に反映される場面が少ない印象であった。

## 3. 「人間尊重の精神と豊かな人間性を身につけている」

①できている：8      ②まあできている：5      ③できていない：0      ④その他：0

- ・患者に寄り添う心を持っている。相手の話を聞く姿勢ができている。
- ・真摯に業務に向き合っている。職場の要の存在となっている。
- ・感情に左右されている様子もあるが、自己分析をしながら支援員としてのあり方を考えてくれている。
- ・利用者へ尊重した支援を心がけている（複数）。
- ・誰に対しても分け隔てなく優しく接することができている。難しい課題に直面してもあきら

めることなく最後まで丁寧に取り組むことができている。

- ・積極性と自主性が高くなることを望む。
- ・社会人1年目のため、これから身についていくものだと期待している。

#### (質問2) 本学に対する要望等

- ・引き続き実習の協力をさせて頂ければと思う。意見交換できる今後も良い関係をお願いしたい。
- ・今後も優秀な学生の育成を期待している。実習巡回の際は、施設にも助言や指導をいただければありがたい。
- ・実習から障害者福祉に興味を持つ方も多いようなので、機会をいただけるとありがたい。
- ・実習巡回指導等では卒業生のことも気にかけていただきありがたい。卒業生は教員からのお言葉を励みに頑張っているようである。
- ・コミュニケーション能力の指導をお願いできればと思う。
- ・実習の受け入れを通してしっかり学んでいることが伝わっている。

#### 5. 就職先への聴き取り調査を通しての課題と改善点

各施設からのコメントから、卒業生は概ね学習成果を獲得できているものと考えられる。しかしながら、1つの施設からは、生活者としての知識・技術、福祉専門職としての知識・方法・技術について、「できていない」との回答があった。施設からいただいたコメントについては、学科内で共有し、実習指導の時間等で活かしていきたい。

### 【食物栄養学科】

1. 調査期間 令和6年2月下旬～3月下旬

2. 調査対象 食物栄養学科3期生の就職先

栄養士として正規採用の病院（委託含む）・福祉施設等 計10施設（病院2、福祉施設5、その他3）

3. 回答者 事業所の責任者（施設長、人事担当者等）

4. 調査結果

(質問1) 食物栄養学科の学習成果に対して、貴社に就職した当初できていたかどうかおうかがいいたします。

1. 「自己および他者を理解でき、自立・自律した生活の知識・技術を身につけている」

①できている：6      ②まあできている：4      ③できていない：0      ④その他：0

- ・社会人スタート時から、他者とのコミュニケーションに努め、スタッフとして自律した業務ができている。
- ・厨房内のメンバーとしっかりコミュニケーションをとりながら業務に当たっている。

## 2. 「豊かな人間性と感性をもち、食に係る基本的な知識・技術・方法を身につけている」

①できている：5      ②まあできている：5      ③できていない：0      ④その他：0

- ・芯の強さを感じる。老健の役割を認識し、応用できる能力も備わっている。大変なこともあると思うが不平不満を漏らすことなく、大きく成長している。
- ・給食の献立作成に意欲的に関わることにより、園全体の食の傾向を分析しながら業務を進めている。このことに関しては、園児の食の環境について自分なりに考えを持っているものと思われる。
- ・食べる人の気持ちになり、丁寧に作り、提供することができている。
- ・知識・技術・方法についてはしっかりと学校で学んできている様子が見える。
- ・消極的なところがあるが、今後の成長に期待している。

## 3. 「人間尊重の精神と、食に係る専門的な知識・技術・方法等を身につけている」

①できている：5      ②まあできている：5      ③できていない：0      ④その他：0

- ・安心安全な食事作り、喜ばれる食事作りに貢献している。
- ・食形態の多様化やとりみ剤の使用等の専門的な知識の理解をして、食の楽しさを提供している。
- ・アレルギー食や宗教上の配慮等の多様性を理解しながら、よりよいものを提供しようとする姿勢がみられる。
- ・食に係る技術等は、同僚との関わりの中で身につけて欲しいと考えている。
- ・任されている仕事や書類等以外にも、他のスタッフに気を使い、声掛けや手伝いをしている姿が見られる。

## 4. 「倫理性をもった栄養士として、地域や社会の福祉に貢献できる能力を身につけている」

①できている：6      ②まあできている：4      ③できていない：0      ④その他：0

- ・高齢者との関わりの中、ミールラウンドの実践状況は申し分なく、詳細な情報を得て栄養マネジメントに反映することができている。
- ・卒業生から在校生への報告会については、本人より積極的な申し出があった。他の人の為に自分が動く事のできる人格と考える。
- ・性格的なものなのかスローペースのところがあるが、頑張っている。
- ・今後、成長していくなかで貢献できるレベルになると判断できる。

### (質問2) 本学に対してのご意見・ご要望

- ・一般の方にも公開されている管理栄養士国家試験受験のための講義は素晴らしい。卒業生に

も教育を継続させ、今後県内に管理栄養士が増えることで、国のニーズに合った業務に繋がると考える。

- ・子どもの食育について、子ども向けの活動を行っていただきたい。
- ・出張活動等、園を訪問して体を作る栄養素や正しい食事の仕方等を話してほしい。

#### 5. 就職先への聴き取り調査を通しての課題と改善点

- ・各学習の成果に対して、「できている」「まあできている」の評価を得た。また、卒業生がそれぞれの職場で与えられた仕事を一生懸命に遂行している様子を知ることができるコメントが寄せられた。引き続き、本学の理念と目的達成のために、教育に当たっていききたい。
- ・今回の調査では、管理栄養士国家試験対策の開放授業に対して、1施設から高い評価をいただいた。年々参加者が増えてきており、5年度は参加者の中で2名が合格したとの報告もいただいている。引き続き、支援をしていきたい。
- ・子どもの食育についても、要望があることがわかったので、検討していきたい。

以上